

2018年5月21日 モチベーションについて

※一言要約：モチベーションは、成果を左右する。

モチベーション(motivation)とは、「意欲(やる気)」や「動機づけ」といった意味が一般的です。

よく言われることに、やる気がない者がやった仕事は効率が悪いし、その出来栄は十分とは言えないとあります。即ち、モチベーションがその仕事の出来栄・成果を大きく左右するのです。(判りきったことですが……)

何があれば、従業員が仕事などにやる気(意欲)が出るのでしょうか？

一つは、成功体験(できるようになってきた、できた)が、達成感につながり、次の行動を引き起こすものです。難しい言葉でいえば、「自己実現」ですね。自分の考えたことや工夫などがうまくいった、このようなことが達成感となり、自己が実現していくことが、モチベーションになっていくのです。具体的には、身近な目標を立ててそれを達成していくことが、判り易いと思います。【目標を立てよう、立ててもらおう】

もう一つは、メリット(得るもの)です。例えば、精神的には、褒めてもらえる・認めてもらえることでしょうし、実益としては、給料・賞与が上がるや何らかの収入が得られるなどです。やはり人間は周りから認められたい、褒められたいものですから、日頃から素直に「ありがとう」、「よくやってくれました」と言葉をかけることを心掛けましょう。【褒めて伸ばす】

逆に、やる気が減衰する大敵に「マンネリ」があります。同じ仕事を長くやっていると、どうしてもマンネリになる。マンネリになると刺激もなく、モチベーションも下がってくる。

今回はこの「マンネリについて」をテーマとして取り上げます。